
病弱さんの異世界トリップ

たなか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

病弱さんの異世界トリップ

【Z-IPアード】

Z0549Y

【作者名】

たなか

【あらすじ】

病弱少女が異世界にトリップする話。のはず。見切り発車です（

^ - ^ ;

発熱（前書き）

実際に病弱な方がご覧になつたら、不快に思われるかもしれません。
申し訳ありません。ご注意ください。m(—)m

何を隠そう、私は病弱だ。

風邪や熱なんてショッちゅう、年に一度は入院するような病弱さだ。

「げほげほつ…げほん！」

今も40 近くの熱を出して自室のベッドで寝ている。

喉が痛い。体が重く、関節が軋む。田には無意識に涙が溜まっている。

このままいつたら入院レベルだな、これは。

家族が尋常じやなく心配する姿が田に浮かぶ。

私の家族は心配性だ。イヤ、マジで。末っ子だからなのか、大事にされているのは知っている。

だからってあれ 特に兄さんと姉さん には軽く引いてしまう。いつも安心させるのにとんでもなく労力を要する。ぶつちや、けめんじ。

……肺炎にならなければいいな

朦朧とした意識の中、そんなことを考えながら眠りについた。

違和感

寒い。

ぞわわわっと鳥肌がたつ。

発熱のときの独特的な寒さじやない。

単純に気温が低いんだ。

遠くでヒュューと風のなる音がした。

おかしい。窓は閉めていたはずだ。

これは夢の中？

まぶたが重い。目を開けるのも億劫だ。

でも、寝る前にかぶつたあたたかい布団の感触もない。それにベッドが、固い…？

何かがおかしい。

…ああ。ダメだ。頭がガンガンする。まるで内側から殴られているみたい。

何も考えられない

違和感を感じながら私は意識を手放した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0549y/>

病弱さんの異世界トリップ

2011年11月12日02時49分発行